

## 社会保障制度改革国民会議における国民健康保険の議論について

社会保障制度改革国民会議において、国民健康保険等医療保険制度の抜本的な改革に向けた議論が進められているところである。

全国知事会としては、第5回社会保障制度改革国民会議において申し入れたとおり、国保について、保険料、被用者保険との財政調整、公費投入等をいかに組み合わせて持続可能な制度を実現するのか、その方針の明確化が必須であり、保険者のあり方については、国の定率負担の引上げや安定財源の確保を図ることなどにより、構造的な問題を早急に解決した上で検討すべきものとする。

これまで、社会保障制度改革国民会議では、大前提である構造的な問題の抜本的解決について十分な議論を尽くす前に、保険者のあり方の議論に終始しているように見受けられるが、言うまでもなく保険者を都道府県とするだけでは、問題を先送りするだけで、持続可能な制度の構築には、ほど遠いものである。

都道府県としては、医療保険における最後のセーフティネットである国保が持続可能な制度となるよう、抜本的な改革に市町村とともにしっかり取り組んでいく考えである。社会保障制度改革国民会議においては、真に持続可能な制度の構築に向けた、本質的かつ本格的な検討がなされることを望む。

平成 25 年 4 月 24 日

全国知事会社会保障常任委員会  
委員長 栃木県知事 福田 富一